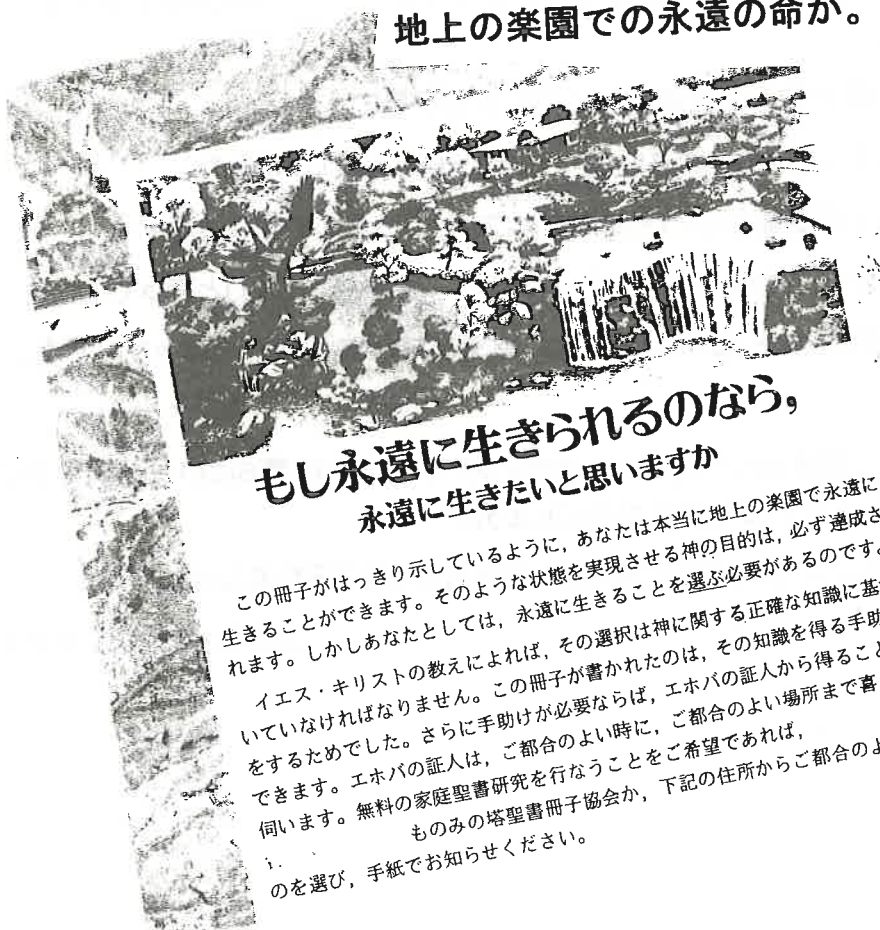


シャンバラ思想もあったなあ、

地上の楽園での永遠の命か。



もし永遠に生きられるのなら、
永遠に生きたいと思いませんか

この冊子をはっきり示しているように、あなたは本当に地上の楽園で永遠に
生きることができます。そのような状態を実現させる神の目的は、必ず達成さ
れます。しかしあなたとしては、永遠に生きることを選ぶ必要があるのです。

イエス・キリストの教えによれば、その選択は神に関する正確な知識に基づ
いていなければなりません。この冊子が書かれたのは、その知識を得る手助け
をするためでした。さらに手助けが必要ならば、エホバの証人から得ることが
できます。エホバの証人は、ご都合のよい時に、ご都合のよい場所まで喜んで
伺います。無料の家庭聖書研究を行なうことをご希望であれば、
ものみの塔聖書冊子協会か、下記の住所からご都合のよいも
のを選び、手紙でお知らせください。

2 ページ

手記「第6でアスベスト」

11～3 ページ

寄稿「森達也氏らの発言に対する懸念」—その2

杉 本 繁 郎

手記 第6でアスベスト

最近のアスベスト関係のニュースを見ていて、思い出したんですが。

第6サティアンのむき出しになった鉄骨や壁にアスベストが使われてました。
(たぶん)

鉄骨や壁に使われてるふわふわした物を見て

「あ～、同じようなのを小さい頃に見たな…」と思っていました。

AHIの立田医師がいつも防塵マスクをしていたので理由を聞いたら、
「アスベストが使われてるからね…。体への害が強いから」と言ってた。
その時は、アスベストなのか…。そんなに害があるのかな…と思ったんです。

あんなに閉ざされた空間で1日中アスベスト…私は第6にいた期間は短いけど長かったサマナは大丈夫なんでしょうか…

30年後くらい…特に第6に長かった子どもたちはどうなるんでしょうか。

30代、女性、元サマナ

ととばすべしといふわけであらう。もし麻原の
 人格崩壊の原因が薬物の投与にあるならば、その
 ような例が他にも複数存在するはずである。
 であらう。本来であれば、森氏は麻原以外の薬物
 投与による人格崩壊の具体的な例を提示した上
 で、岡崎氏の推察を取り上げざるべきだと思いま
 す。にもかかわらず、麻原の人格崩壊があたかも薬物
 によるものか、あると受け取れる森氏の発言は、
 このことが教団幹部らに悪用される可能性があ
 るという点とも併せて考えるならば、あまりに
 も無責任だと思ひます。あ
 今、ただ森氏のこのような発言等が教団幹部
 らによって悪用されることを願うばかり
 であります。

平成17年6月17日

杉本繁郎

終解脱などというある意味で崇高ともいえ
る精神状態は至つてあらが我々弟子の精神
生よりも劣つていたことから長期の拘留に耐えら
れなくなつたことによるものとみえてあることは
間違いないと鬼いませう。
しかしホミ氏が取り上げた薬物説はこのような
麻原の本質を否定するものがありまたこの薬
物説が教団幹部らによつて

FUJITSUBO

「尊師が精神の異常を来したものは拘置所で
常識外の薬物が投与されたからだ」

「尊師を薬物によつて葬ろうとしたが最終解
脱者である尊師を葬ることは出来なかつた」

を来たいたということはよめあり得ない
 とだと思いきや。もし麻原が薬物の投与を
 受けていたとあればそれは麻原が長期の勾留
 へ耐えられなくなつて薬物の投与を受けざるを
 得ないほど精神に異常を来たしてしまつた
 からだと考へて良いと思いきや。
 またもし常識外の量の薬物が投与されたのであ
 れば精神に異常を来たす以前に死に至つてしま
 うのではないであらうか。
 それはそれとして私が、森氏が取り上げた
 「拘置所内」で投与された精神剤が麻原へ各崩
 壊の原因ではないかというところを問題視して
 いるのはこの推測が教団幹部らに都合よく利用
 されてしよつと思われからである。
 麻原の精神が崩壊したのはそもそと麻原は最

FUJITSUBO

いたことは事実だしそのフラッシュバックが放
置されたため慢性化したとの見方もある
いわれるせよ薬物を原因と仮定するとなら
ば急激な症状の変化の説明がつく。

なるとはなべていふであらう。

しかし私はこの説は全く否定的であらう。

確かに拘置所には精神の異常を来たして

ると鬼われる人達もいることは確かであらう。

しかしこのようなく人は拘置所に入所した段階

で、あつて精神の異常を来たしていった人か

しくは、あつて拘置所等での長期の拘留に耐えられ

くたつて精神の異常を来たした人か、いふ

かの人達であつて拘置所に入所して必要もない

の無理矢理薬物を飲まされて精神の異常

岡崎のその見解は實に単純明快だ。拘置所内
 で投与された向精神剤が麻原の人格崩壊の原因
 ではないかと彼は推測した。彼自身も接見
 した司法関係者からの情報から、
 拘置所内では看守たちが薬物を頻繁に使う
 と噂はよく耳にあり、特に入所したばかり
 の麻原彰晃はとにかく看守たちとアタマを
 介したままだった。らしく常識外の量の薬物が
 投与されたというところらしい。一時は絶食や
 尿療法などでも彼は何とか薬に抵抗しようと
 した。だが（確か）当時はそんな報道もあつた。
 所詮は生身の身体が耐えきれぬは力もなく最
 後には無残に崩壊したという。
 岡崎一明はこの推察が正しいかどうかは僕には
 わからない。教祖時代麻原自身も薬物をヤア

れた向精神者が麻原の人格崩壊の原因ではな
いかとという岡崎氏の見解を紹介し、そして岡
崎氏との最初の面会以降、やりとりした手紙の
内容の一部要約として

「彼はとうとう普通人として意識が失われ
いるとあるあなたの見立ては、かつて麻原
彰晃の法廷証人として呼ばれたときの印象
も含めて自分も全面的に同意ある。あなた
麻原がどこまで無残に壊れた理由をあなた
は、イメージの世界にいたからと現実の事
件との大きな差をギャップと罪の意識の差
かねたのでは」と書いていたが自分の見解
は少し違う。

FUJITSUBO

れゝ西氏の発言は無責任極まりないと思ひま
 先曰あるマスコミの方が昨年出版された渡辺氏の
 本が教団のバイブル本となつてゐるのではな
 いかと懸念されたりもしましたがこの森氏三度
 へ発言等が教団幹部らによつて悪用された
 ことを願うばかりであつた。

また森氏は

「A3 麻原彰晃への新しい視点連載第三回
 面会」(「PLAYBOY」4月号2月発売)

の中で岡崎一明氏と面会したと触れ麻原
 が述べた理由の一つとして「拘置所内で投与さ

FUJITSUBO

教団では、正統史造が教団代表を退いたとされ
 03年11月頃から

「事件は戒律を曲解した一部の
 弟子達によるもの……」

などと言いつつ始め、最近ではこのような傾向が
 より一層強まり、麻原の事件関与を否定し
 始めるといふようになってきた。
 そして森氏、渡辺氏の発言等が教団のこのよう
 な主張の根拠の一つとして使われていたよう
 うである。そういう意味で、教団内での資金の流れ
 を全く検証することができなくなり、側近の暴走を
 語り、麻原の責任をあべく我々擦りつけ、麻
 原の事件関与を否定するかのいごとく受け取

FUJITSUBO

松本智津夫被告の訴訟能力鑑定について」

2005/8/19

麻原訴訟の控訴審

- ・ 8月末日の控訴趣意書提出期限の再延長は認めず
- ・ 公判期日の停止も認めず
- ・ だが、訴訟能力の鑑定は採用する

という見込みだのことです。

で、私の正確なコメントは下記です。

世界が見ている麻原裁判は、より適正な手続でされたと歴史に残さなければならぬ。その意味で訴訟能力の鑑定をすることに賛成だ。

松本被告は極悪非道の人物であると同時に、「オウム裁判傍笑記」の青沼陽一郎氏が言うとおり「最終芸達者」である。鑑定人は、被告人の今の状況のみを見て騙されないように欲しい。

被告人の驚異的な記憶力に基づく罪状認否、不当だが適切な証言妨害、それが受け入れられないと分った後の接見拒否、そして死刑判決の時の情けない態度などを十分に認識すれば、おのずから現在の状態をどのように評価すべきものなのか判明する。

窓 口

<http://www.cnet-sc.ne.jp/canarium/>

発行 カナリヤの会

〒242-0021

神奈川県大和市中央 2-1-15 パークロード大和ビル 2 階

大和法律事務所 窓口 滝本太郎 気付

電話 046-263-0130 ファックス 046-263-0375 takitaro@yha.att.ne.jp

横浜銀行大和支店 普通 1 3 4 3 0 7 8 カナリヤの会 滝本太郎